

ごあいさつ

徳島県小学校教育研究会算数部会

会場校 石井町高川原小学校長 齋藤 弘人

本日はご多用のところ、「徳島県小学校教育研究大会・算数部会」にご参加いただき、誠にありがとうございます。県内各地より多くの先生方をお迎えし、本校を会場としてこのように意義深い研究大会を開催できますことを、教職員一同、光栄に存じます。

本校では、「一人一人が笑顔で自分らしく輝く学校づくり」を教育目標に掲げ、子どもたちが安心して自分を表現し、互いに認め合いながら学び合う学校づくりをめざして、日々の教育活動に取り組んでおります。

近年、子どもたちの学びにおいては、「主体的・対話的で深い学び」の実現が求められており、算数科においても、単に正解を導くことにとどまらず、「なぜそう考えたのか」「どのように考えを進めたのか」といった思考の過程を言語化し、他者と共有することで学びを深めていくことが重要な課題となっております。

この課題を解決するためには、子ども一人一人が自分の考えを安心して伝え合える学級風土、そしてそれを支える教師の的確な支援が欠かせません。そこで本校では、研究主題を「深い学びの実現に向けた算数科授業の在り方」、副題を「一人一人が自分の考えを持ち、伝え合い深め合う学びを目指して」として、日々の授業改善に向けた研究を重ねてまいりました。また、本主題を実現するための具体的な研究の視点として、

- ・子どもが主体的に問題解決に取り組むための教師の支援
- ・子どもが自分の考えを表現し、伝え合う協働的な学びを実現するための教師の支援
- ・子どもの学びを確かなものにするための振り返りと学習評価

という3項目に着目しております。その過程において、特に子どもたちの思考の過程を大切にし、ノートや発言、対話を通じて学びを可視化する工夫と、教師同士の授業研究や協議を通じた授業力の向上に努めてまいりました。

本日の研究大会では、これまでの本校の研究成果をご覧いただくとともに、ご参加の先生方の豊かな実践やご意見を共有する中で、子どもたちが自らの考えを持ち、仲間と伝え合い、互いに学び合う姿を実現するために、私たち教師がどのような授業を構想し、支援していくべきかを、共に深く考える機会が得られることを期待しております。

結びに、本大会の開催にあたり多大なるご尽力を賜りました、松永会長をはじめとする徳島県小学校教育研究会算数部会の皆様、研究を進めるにあたり熱心にご指導いただきました助言者の先生方、大会役員等の関係各位の皆様の、ご支援とご協力に心より感謝申し上げます。

本日の研究が本県における算数科授業のさらなる可能性を拓き、子どもたちのよりよい学びにつながることを願い、会場校としてのごあいさつとさせていただきます。